

第 10 回 国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会 議事要旨

1 日時・場所：平成 17 年 1 月 20 日(木)11：30～13：00 鹿島セントラルホテル梅の間

2 出席者：

(検討会委員)：森田座長、上野委員、高橋委員、花岡委員、山里委員、横山(尚)委員、横山(裕)委員。

(環境省)：環境リスク評価室長ほか。

(オブザーバー)：茨城県、神栖町。

3 議事概要

(1) 議題 1「神栖町において発見されたヒ素含有コンクリート様の塊に対する今後の対応について」

事務局から資料 4 に沿って神栖町において発見されたヒ素含有コンクリート様の塊に対する今後の対応について説明した。

数点でコアサンプルを採取し、鉛直方向の分布を把握した後、割って取り除くこととなった。

また、周りの土壌のコアサンプルを採取し、比較することが必要なのではないかとのご指摘があった。また、地層を出して、垂直断面が分かるようにする必要があるとのご指摘もあった。

今後、資料 4 の今後の対応方針に沿って調査を実施することについて了承された。

(2) 議題 2「茨城県神栖町における地下水調査の結果について」

事務局から資料 5 に沿って神栖町における地下水モニタリング結果(10 月分)について説明した。委員から、もう少し調査を継続し、データを集める必要があるとの意見があった。

今後、資料 5 の今後の方針に沿って調査を実施することについて了承された。

事務局から資料 6 に沿って神栖町における地下水中の有機ヒ素(ジフェニルアルシン酸、モノフェニルアルソン酸、フェニルメチルアルシン酸)の存在状況について説明した。

今後とも、資料 6 の考察の内容に沿って、ジフェニルアルシン酸を主な指標として環境調査を実施することについて了承された。

事務局から資料 7 に沿って神栖町 B 地区南西端井戸からジフェニルアルシン酸検出に関する対応について説明した。

今後、資料 7 の今後の対応に沿って調査を実施することについて了承された。

以上